



# 図書館だより 1月

2024年、新しい年が始まりました！気持ちも新たに頑張っていきましょう！

3年生はいよいよ入試本番、1・2年生はセントラルマラソンと、3学期はいろいろと忙しくなってきます。体調に気を付けて、今までの努力の成果を十分に発揮できるようにしてください。そこに至るまでの努力を自信に変えて、落ち着いて臨んでくださいね。

**楽観はしない。ましてや悲観もしない。ひたすら平常心で。 羽生 善治 (将棋棋士)**



## 図書委員会からのお願い&お知らせ

冬休みに本を借りた人は、3学期の始業式が返却日です。まだ返却していない人は、至急返却をお願いします。また、3学期の図書館利用は、下記ようになります。

3年生…返却期日**1月31日**。(2月からは貸出できません。)

1・2年生…**2月29日まで貸出、返却期日3月4日**。(3月からは貸出できません。)

年度末の図書の整理がありますので、ご協力をお願いします。

## 🎁 バレンタインイベント

恒例のバレンタインイベントを今年も行います。2月14日(水)がバレンタインですが、この日は学年末考査時間割発表なので、少し早めに行います。

**2月1日(木)、2日(金)、5日(月)**に本を借りてくれた人にはいいことがあるかも…。新着図書もたくさんありますので、ぜひご利用ください！



## フックトーク&メディカルトーク

12月22日に209で行われました。県立図書館の職員の方と愛媛県立医療技術大学の先生から、医療看護についてのお話をいただきました。



## 📖 新着図書紹介

『藤井聡太は、こう考える』 杉本 昌隆:著

前人未到の八冠達成！なぜ藤井聡太は強いのか…。師匠の杉本昌隆氏が強さの秘密を余すところなく語ります。

『夜明けのはざま』 町田 そのこ:著

家族葬専門の葬儀社「芥子実庵」。そこで出会う人々は、死を見つめることで、自分らしく生きることはどういうことかを考えます。自分に嘘をつかない生き方とは？

『存在のすべてを』 塩田 武士:著

二児同時誘拐事件から始まる物語。30年の時を経て、その真実が明らかになっていきます。ミステリーとしての要素もありますが、家族の愛、細密画の美しさの描写が見事です。500ページ近い大作で、読みごたえがあります。

『夜空に浮かぶ欠けた月たち』 窪 美澄:著

心が疲れてしまったとき、やりきれないとき、この一冊が支えになるかもしれません。東京の片隅、病院とは思えない一軒家、「椎木メンタルクリニック」。傷ついた心にそっと寄り添う癒しと再生の物語。

『訂正する力』 東 浩紀:著

人は誤ったことを訂正しながら生きていきます。しかし、日本では変化＝訂正を嫌い、「ブレないこと」が評価される傾向にあります。

「訂正する力」は硬直した社会を打破するために、人が肯定的に生きるために、今求められている力です。

## 時事問題に強くなろう！

面接・小論文にも役に立ちます。図や写真も多くわかりやすいです！

『現代用語の基礎知識』『2024年の論点』『時事重要テーマ100』

